

令和7年度試験問題

後 期 日 程

学校教育教員養成課程

伝統文化教育専攻

専 修 名	科 目 等	ペ ー ジ
文化遺産教育専修	小 論 文	P. 1 ~ P. 5

注 意

1. 問題冊子及び解答用紙は指示のあるまで開かないこと。
2. すべての解答用紙の※印のついた箇所に受験番号を記入すること。(合計点欄に記入してはいけない。)
3. ページ数に間違いがないかよく調べること。
4. I, II-A (文化財科学), II-B (造形表現)のうち,
Iは共通問題である。全員必ず解答すること。
II-A (文化財科学), II-B (造形表現)については、いずれか一問を選んで解答すること。
5. 下書用紙を利用することは差しつかえないが、答えはすべて解答用紙に記入すること。
6. 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ること。

共通問題

I 写真Aは奈良国立博物館の三鈷杵^{さんこしよ}、写真Bは僧侶の三鈷杵の持ち方を例示している和歌山・金剛峯寺の清浄比丘像^{しょうじょうびく}（八大童子像のうち）である。以下の問いに答えなさい。

〔配点250点〕

問1 写真Aに示す奈良国立博物館の三鈷杵の素材は何か、また三鈷杵の原型はどのような器物か、写真を熟視して以下の①～⑥の選択肢から正しい答えを選び、解答用紙にその番号を書きなさい。

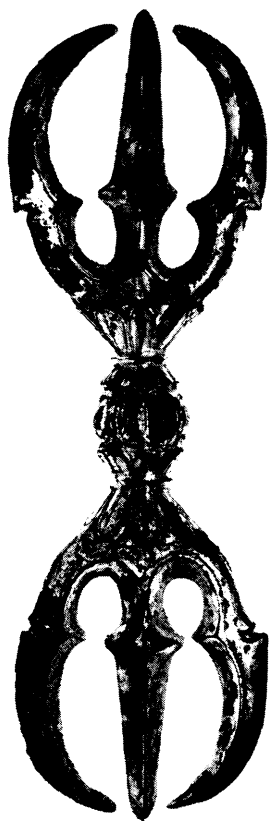
〔配点50点〕

- ① 素材は木で、原型は武器である。
- ② 素材は木で、原型は食器である。
- ③ 素材は木で、原型は筆記具である。
- ④ 素材は金属で、原型は武器である。
- ⑤ 素材は金属で、原型は食器である。
- ⑥ 素材は金属で、原型は筆記具である。

問2 奈良国立博物館の三鈷杵の形態や、清浄比丘像が三鈷杵を持つ姿から、三鈷杵の器物としての美しさはどういったところにあり、またそれを僧侶が持つことにはどのような意味があると考えられるか、300字以内でまとめなさい。

〔配点200点〕

写真A



写真B



選択問題（文化財科学）

Ⅱ－A

元素には、原子番号（陽子の数）が同じでも中性子の数が異なっている原子が存在する。これを同位体という。同位体には、原子核が不安定で放射線を放出して別の元素の原子核に変化するものがあり、放射性同位体と呼ばれる。文化財科学の手法の中には、放射性同位体を利用した分析法が多くあるが、その代表的なものの一つに放射性炭素年代測定法（ ^{14}C 法）がある。放射性炭素年代測定法は、文化財の年代測定に広く用いられている。以下の用語集の言葉を10個以上用いて、放射性炭素年代測定法と文化財の関係について、あなたの考えを400字以内で述べなさい。（用語集の言葉をすべて用いる必要はない）

〔配点250点〕

（用語集）

元素，原子，放射性同位体，放射線，半減期，有機物，植物，窒素，5730年，光合成，二酸化炭素，種実，食物連鎖，文化財，遺体，遺物，炭化物，木材，肉食動物，草食動物，化合物，タンパク質，大気の循環，年代測定， ^{12}C ， ^{14}C

* このページは白紙です。

選択問題（造形表現）

Ⅱ－B

与えられたモチーフ（トイレットロール）を手で持つ、あるいは机の上に置いた状態でつかみ、その手とモチーフのバランスを考慮しながら実物大で解答用紙に鉛筆写生しなさい。

〔配点250点〕